

平成 28 年度

家庭での学びと環境づくり

— 自学・自習の体得をするために —



立川市立幸小学校

保護者の皆様へ

立川市教育委員会は今年度も「学力・体力の向上、特別支援教育、小中連携の充実」を重点課題として学校教育の指針を示しました。子供たちに確かな学力を育成することは学習指導要領における「生きる力」を育むことにつながります。

本校では市の重点課題を受け、全ての子供たちの学力向上に向け、全教職員で取り組んでいきたいと考えています。中でも昨年来から課題のあった「算数科」における学力向上をさらに重点化し、指導の充実を図っていきます。

具体的には、今年度も週2回の朝学習（パワーアップタイム）と週1回の放課後補充学習（月・木曜塾）、夏季休業中の補充学習（サマースクール）を計画し、実施していきます。月・木曜塾とサマースクールには担任以外に外部指導員を配置します。

また、教員の指導力向上を目指し、算数科における校内研究に取り組んできましたが、11月には研究発表会を開催します。研究の成果は全教員が、毎日の授業を通して子供たちに還元していきたいと考えています。

なお、学力向上の取り組みにはご家庭のご理解とご協力が欠かせません。昨年度作成しました「家庭での学びと環境づくり―自学・自習の体得を目指して―」のリーフレットの活用をお願いします。また、保護者の皆様には、学校と家庭が協働しながら、家庭ではお子様の実態に応じて、学力向上に向けて日々取り組んでいただくことを切にお願いするところであります。

どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年5月

立川市立幸小学校 校長 野口 知義

小学校 1・2年

学習時間の目安

15分~30分

★1.2年生は親子で一緒に

学習する姿勢を身に付けてください。

<学習内容の特色・実践>

- 読み書き計算など、基礎的、具体的な学習が始まる。
- 学校で学んだことを家で復習をすると学習が身に付く。
- たし算、ひき算、かけ算九九など、基本を繰り返し練習することがとても大切になる。

<家庭学習のポイント>

- 家の人が見ているところで勉強をすること。読書は効果的。
- 毎日、同じ時間にやること。
- 特に宿題を最後までやることを守らせる。やり終えたら必ず保護者が点検をする。家庭学習の流れを作るようにする。

★学童で終わらせた宿題は保護者が家で確認、点検する。

<算数の学習では>・・・計算力を重視する。（正確さを重視）

- 速さを競わず、楽しみながら計算に慣れる。正しくできるようになったら少しずつスピードを上げる。また、間違えた問題を必ずもう一度やり直す習慣を身に付けていく。

★**ゆっくり学び、学校での学習に自信をもたせてください。**

小学校 3.4 年

学習時間の目安

30分~45分

3.4年生はテレビやゲームの

時間を決め、宿題以外の自主学習（自学）に

挑戦してください。～進んで学ぶ好奇心を育てる～

<学習内容の特色・実践>

- 社会科や理科の学習が始まり、学習の範囲が広がる。
- 資料集や地図帳、辞書などを使い、自分で調べ学習をすることが多くなる。（問題解決的な学習へ移行していく）
- 四則計算（ $+$ 、 $-$ 、 \times 、 \div ）の基礎・基本を徹底して学ぶ。

<家庭学習のポイント>

- 宿題は絶対に忘れずにやり、提出する。
- 自分で学習計画を立て、宿題以外の学習ができるようにする。
子供には保護者の温かい励ましの言葉がやる気の原動力になる。
- 子供に家庭の家事をさせる。家事は立派な自立のための学習

<算数の学習では>・・・計算の手順が身に付くよう毎日の練習が大切。

- 手順が多い計算も集中して順番に計算していくようにする。
- 図形や文章問題も必ず復習をする。
- 差がつきやすい小数、分数など抽象的な学習をきちんと理解する。
- かけ算九九、九九を使った割り算は暗唱できるよう家でも練習をする。

★**学習の集中力を育成する。学習環境を整えるため家族の協力を**

小学校 5.6 年

学習時間の目安

50分~70分

5. 6 年生は得意、不得意を

意識します。目標をもち、見通しを立てた計画的な学習を行うことが重要です。

<学習内容の特色・実践>

- 学習量が多く、内容が難しくなる。また、日本だけでなくさらに広く社会や世界に向けた学習をするので、ニュースや新聞にも関心を向けていく。
- 覚えるだけの学習だけでなく、学び方やものの考え方を大切にした学習に転換する。
- 家庭科の学習が始まり、自立の基礎（衣食住）の学習が始まる。
- 学習用具の忘れ物や宿題の乱れは危険信号。宿題を確かめさせ、学習の準備が進んでできるようにする。やるべきことの順番を考え、決めていくことが中学に繋がる。

<家庭学習のポイント>

- 生活リズムの乱れは勉強嫌いにつながる。就寝時間に気を付け、夜更かしをしないように心がける。起こされなくても朝、自分で起きられるようすることが自立に繋がる。
- 興味あるニュースや新聞記事など、親子で自然に会話ができるようにする。また、メディアの時間を短くして読書をする時間をつくる。結果だけを問うのではなく、どれだけ頑張ったかそれまでの過程を評価する。
- 日常のあいさつや子供に積極的に家事をさせる。また、中学校生活を意識させる。

<算数の学習では> ・ ・ 苦手を克服する。復習をやり、予習もしていく

- 間違えた計算は繰り返し練習をする。答えの確かめが自分でできるようにする。
- 卒業までには必ず東京ベイシックドリルの問題が全てできるようにする。
- 考えた解答を自分で論理的に説明ができるようにする。

★学習に対する興味・関心・意欲により学力が大きく左右します。

平成 28 年度



家庭での学びと環境づくり

——自学・自習の体得をするために——